

たま市民討論会 実施報告書

(第五次多摩市総合計画 市民ワークショップ)

平成26年10月
多摩市



《目次》

第1章 たま市民討論会について	1
1 開催の背景・目的	1
2 開催概要	2
3 実施方法（ワールドカフェ方式）	3
4 当日のスケジュール	4
第2章 討論の結果	5
1 全体概要	5
2 政策分野別の市民意見	6
第3章 各テーブルの模造紙紹介	11

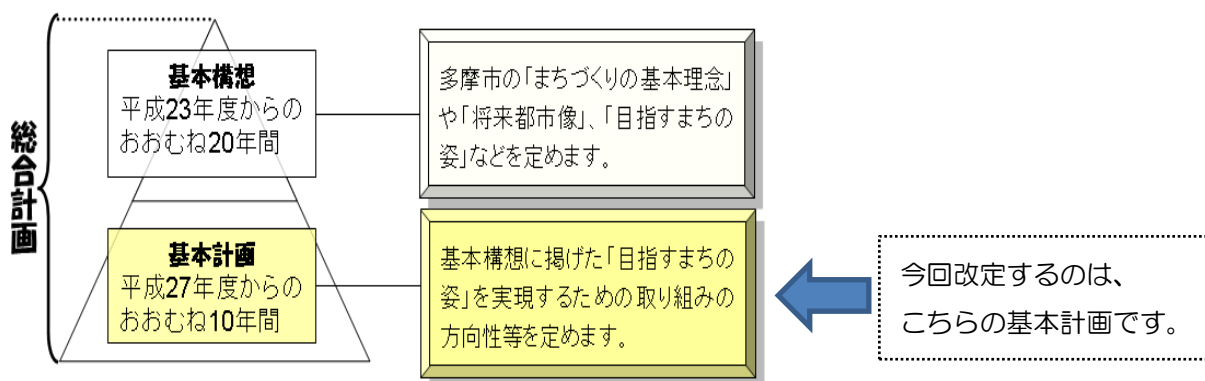
第1章 たま市民討論会について

1 開催の背景・目的

(1) 背景

- 多摩市では、平成27年度から第五次多摩市総合計画第2期基本計画※の改定に向けて検討を進めています。
- 計画の改定にあたっては、多摩市自治基本条例第24条（計画策定等への参画）の規定に基づき、総合計画審議会や市民アンケートの実施など、多くの市民の皆さんから意見を伺っています。
- この「たま市民討論会」も、総合計画の改定に伴う市民参画の一つとして実施しました。
- 今年度は、多摩市の最高規範である多摩市自治基本条例の制定から10年目を迎える年です。条例の理念である市民参画、市民協働、情報共有など、これまでの成果を踏まえ、更に市民が主体となったまちづくり、自治の実現を基本として改定を行っていきます。

※ 総合計画…多摩市の様々な行政計画の中で最上位に位置づけられる計画であり、「多摩市のまちの将来設計図」です。基本構想と基本計画の2層で構成されています。そのうち、基本計画は、計画の実行性を確保するため、4年ごとに選出される市長の公約も踏まえ、4年ごとに10年間の計画として改定していきます。



(2) 目的

- 市民の皆さんが普段感じている多摩市の魅力や、将来の多摩市に対する想いを、様々な市民の方々との意見交換を通じて、発言していただき、そのご意見等を新しい基本計画に反映させるため、「たま市民討論会」を開催しました。
- この「たま市民討論会」でいただいた意見等は、第五次多摩市総合計画・第2基本計画を改定する際の貴重なご意見とさせていただきます。

2 開催概要

(1) 日時	平成 26 年 9 月 13 日（土） 9 時 30 分～12 時 30 分																																																		
(2) 場所	多摩市役所 西 1・2・3 会議室																																																		
(3) 対象者の選定基準	<p>①住民基本台帳から無作為抽出で選定された 2,000 人のうち参加を希望する 20 歳以上の方</p> <p>②「第五次多摩市総合計画・第 2 期基本計画改定に向けた高校生世代・大学生世代アンケート」の回答者のうち参加を希望する方</p> <p>③昨年度の行政評価市民フォーラムに参加者のうち参加を希望する方</p>																																																		
(4) 参加者	<p>33 名（内訳：(3)の①26 名、(3)の②3 名、(3)の③4 名） （全体の応募者は 39 名）</p> <p>【参加者の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> <th>年代の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 代</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>30 代</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>40 代</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>50 代</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>60 代</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>70 代以上</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>33</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>男女の割合</td> <td>51.5%</td> <td>48.5%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年代	男性	女性	合計	年代の割合	20 代	0	4	4	12.1%	30 代	2	1	3	9.1%	40 代	2	3	5	15.2%	50 代	6	5	11	33.3%	60 代	2	1	3	9.1%	70 代以上	4	1	5	15.2%	不明	1	1	2	6.1%	合計	17	16	33	-	男女の割合	51.5%	48.5%	-	-
年代	男性	女性	合計	年代の割合																																															
20 代	0	4	4	12.1%																																															
30 代	2	1	3	9.1%																																															
40 代	2	3	5	15.2%																																															
50 代	6	5	11	33.3%																																															
60 代	2	1	3	9.1%																																															
70 代以上	4	1	5	15.2%																																															
不明	1	1	2	6.1%																																															
合計	17	16	33	-																																															
男女の割合	51.5%	48.5%	-	-																																															
(5) 内容	<p>自分の身の回りにあった経験や想いを踏まえながら、「将来の多摩市がどのような姿になったほしいか」についてワークショップ形式で話し合いを行う。</p> <p>1 ラウンド 20 分、合計 3 ラウンドで、1 ラウンドごとに席を移っていただく。意見交換後、話し合いで気づいたことなどを付箋紙に書き込み、内容ごとに模造紙に貼り付けていただく。</p>																																																		

3 実施方法（ワールドカフェ方式）

たま市民討論会では、市民参画の手法の一つである「ワールドカフェ」方式を採用しました。「ワールドカフェ」とは、話し合いの場において、4～5人の小グループに分け、度々メンバーを交換する（ラウンドする）ことにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待できる手法です。

◆ ワールドカフェ方式のポイント

(1) カフェのようなくつろいだ雰囲気

創造的なアイデアは、会議室の中ではなく、オープンに会話ができるカフェのような場所で生まれるという考えをもとに、くつろいだ雰囲気の中でテーマに集中した対話を行います。



(2) 思いついたことを自由に記載

各テーブルに模造紙を用意し、会話をしながら自由にアイデアを記載します。席替え後、新しくそのテーブルに来た人は、既にかかれている内容を確認しながら、自身のアイデアを追記していきます。



(3) ラウンドごとに席替え

4～5人1グループで決められたテーマについて、話し合います。1ラウンド20～25分程度で3ラウンド行います。ラウンドごとにホスト役1人を残して、それ以外のメンバーを交換し、新たなテーマについて話し合います。



(4) 付箋による意見の整理

参加者が最も重要と考えるアイデアを3つまで付箋に書き出し、グループ内で意見を共有します。その後、模造紙に貼り出し、全体で共有します。



4 当日のスケジュール

時間	プログラム
9:30	開会、市長挨拶
9:40	本日の趣旨と多摩市の現状・課題について
10:10	ワークショップの進め方について
10:25	休憩
10:35	ワークショップ（ワールドカフェ形式）
11:45	全体共有
12:30	閉会

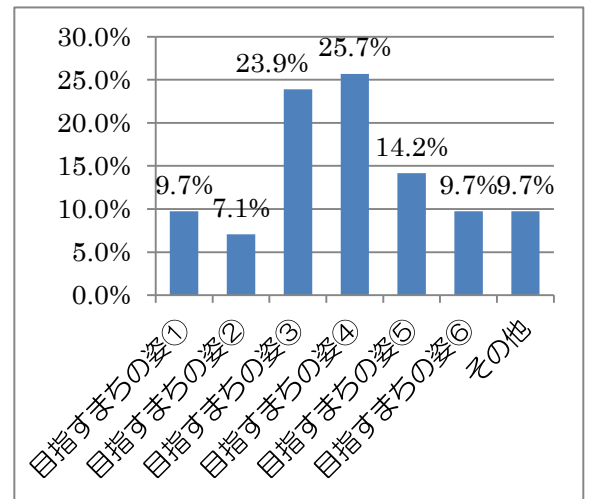
第2章 討論の結果

1 全体概要

参加者に書いていただいた付箋は合計で 113 件あり、これらを本市の6つの「目指すまちの姿」ごとに分類すると、「④働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち【キーワード：産業振興、雇用、観光】」が、25.7%（29 件）で最も多くなりました。

次に多かったのは、「③みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち【キーワード：市民活動、コミュニティ、生涯学習、文化】」（23.9%、27 件）です。続いて、「⑤いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち【キーワード：都市づくり、住宅、防災、交通】」（14.2%、16 件）となっています。

本市の6つの「目指すまちの姿」	キーワード
目指すまちの姿① 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち	子育て、子育て、学校、教育
目指すまちの姿② みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち	健康、医療、福祉
目指すまちの姿③ みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	市民活動、コミュニティ、生涯学習、文化
目指すまちの姿④ 働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち	産業振興、雇用、観光
目指すまちの姿⑤ いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち	都市づくり、住宅、防災、交通
目指すまちの姿⑥ 人・自然・地球 みんなで環境を大切にするまち	環境
その他（全般的なご意見、ご感想など）	



2 政策分野別の市民意見

付箋に書かれた意見について、本市の6つの「目指すまちの姿」に基づき、下表のとおり分類しました。

(1) 目指すまちの姿① 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち【キーワード：子育て、子育て、学校、教育】

政策	ご意見（原文ママ）	
A1 子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり	私たちにできること	・みんなに優しいまちづくり⇒子どもにルールやモラルをしっかりと教えていく。
		・公園での子ども達の見守り
	行政に期待すること	・宅老所と託児所を同じ場所に作ってはどうか。
		・宅老所＋託児所が開設されれば、宅老所での老人の話し相手になれるし、託児所での絵本の読み聞かせなどボランティアで参加できる。
		・宅老所（高収益）＋託児所（低収益）併設で運営安定化
		・若い世代が住みつく地域！児童館や図書館の充実、子どもの教育
・子育て支援の充実、利用したいときに利用できる仕組み（子育てヘルパー制度はあるが、登録が大変）		
・子育て環境の充実（学童クラブ、公園、図書館等）		

A2 人と学び を未来につなぐ まちづくり	行政に期待 すること	• 教育（特に英語）のレベル向上
		• 学校教育の充実
		• 障がい者理解の教育をして欲しい。特に交通（自転車のルール）について。

(2) 目指すまちの姿② みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

【キーワード：健康、医療、福祉】

政策	ご意見（原文ママ）	
B1 生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまちづくり	—	—
B2 だれもが安心して暮らせる支え合うまちづくり	行政に期待すること	• 生活保護を受けている人が、少しでも保護費を少なくできるように、例えば、コミュニティセンターのスタッフとして働いてもらう等の施策をしてほしい。
B3 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	私たちにできること	• 認知症老人の話し相手。本の朗読（目の不自由な人へ）。寂しい老人の相手。
	行政に期待すること	• 特別養護老人ホームの数を増やして欲しい。痴呆症が現在いちばん怖い！
		• 老人医療福祉施設の充実（急病に対応できるように）
		• 高齢者シェアハウスの増設
		• （高齢者の）コミュニティ作りや、コミュニティセンターなどを増やす。
B4 障がい者が安心して暮らせるまちづくり	私たちにできること	• 市民の皆さんに手話を覚えてほしい。手話講習会に通ってほしい。
		• 障がい者と健常者が関係なく、人にやさしく

(3) 目指すまちの姿③ みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち

【キーワード：市民活動、コミュニティ、生涯学習、文化】

政策	ご意見（原文ママ）	
C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり	私たちにできること	• 地域に密着したボランティア活動
		• ボランティアへの参加
		• NPO、NGOの把握及び参加
		• 住民同士が助け合い、支え合えるような関係であること（行政に頼り過ぎない）
		• 受け身ではなく、自ら進んでこういう機会に参加して、意識改革
		• 自分達のまちは自分達の手で住みよいまちにしていけることを考える。
		• 自分達の住んでいる地域を良くするのは、自分達だということを実感し行動を起こすこと

C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり	私たちにできること	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が全ての対応活動を義務とせず、世代、地域、価値観など様々な条件を前提にできることに取り組む。無理をせず、それで良いと認め合う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民同士の繋がり、コミュニティづくりなどを重要なことと認識し、これらへの時間の使い方を生活の中で優先順位を上げる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動に対し、他人ごとだと思わず、自分も関わっていると自覚をもって市に協力していく姿勢をもつ。
		<ul style="list-style-type: none"> ・各地域での自治会活動に参加すること
		<ul style="list-style-type: none"> ・周りに住む人々とのコミュニケーション、助け合い
		<ul style="list-style-type: none"> ・発する意見、参加。（選挙の関心、呼びかけ）
	行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の先生にワークショップのファシリテーターを依頼する。⇒本格的な市民参加へ。形だけのイベントにしない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの充実。本当に実際の施策に活かすという実績をつくる⇒参加意識が高まる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若い子育て世代が融合する場の提供をお願いしたい！それに伴うボランティア事業などに積極的に参加する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者のドッキング
<ul style="list-style-type: none"> ・若者と高齢者のコミュニケーションを図る計画。お互いを知り、助け合いにつなげる。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを知り、助け合いに繋げるため、若者と高齢者のコミュニケーションを図る企画をする。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・協働の仕組みづくりを市民にわかりやすく！ボランティアのコーディネートなど、より丁寧に発信してほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・市の積極的な情報公開と住民と関わりあえる今回のような機会のセッティング。市と議員と住民の三者で行うのが地方自治のあるべき形 ・あらゆる世代の人々の意見をまとめて、交流する機会をもっと増やすべき。それらを踏まえて、行政が動いていく。 ・市民をボランティアやまちづくり活動に参加するきっかけ、意識の醸成。（取引コストの低減） 		
C2 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり	私たちにできること	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等の活用
	行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の（再）整備、自発的に学べるような場がもっと欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の活用において、DVDやCDの充実 ・設備の整った図書館本館の設立。教育全般のレベルアップにも繋がる。
C3 だれもが平等で互いに尊重しあうまちづくり	—	—

(4) 目指すまちの姿④ 働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち

【キーワード：産業振興、雇用、観光】

政策	ご意見（原文ママ）	
D1 人々が集い、働く、活気と魅力あるれるまちづくり	私たちにできること	・行事、イベントの参加による地域の活性化
		・インターネットを使用し、多摩市をアピール
		・多摩市内のお店の活性化⇒市内のお店で Shopping
		・多摩のイベント、いい所、多摩市のお菓子などを他市のできるだけ多くの人に伝える（只今実践中）。
	行政に期待すること	・多摩市に企業誘致する。都内他からの企業が移動
		・企業誘致
		・企業誘致をして欲しい。
		・大企業の誘致
		・働く世代が住みやすいまちづくり。家賃や交通の便に見合ったまちを目指す。人が働ける企業を誘致する。
		・地場産業の育成
		・地場産業育成による脱キティ
		・地場産業育成（財政の改善と雇用拡大）
		・地元産業創生
		・（旧多摩）聖蹟記念館をより整備して観光地にする。おしゃれな喫茶店や食堂があると良い。
		・実りある施策を考え、実行してほしい。しまじろう広場、ハローキティストリートと言われても、それが何になるのか、どんなメリットがあるの？
		・大学生世代がもっと地域に関わりやすい活動を…地域活性化などをテーマに研究している学生と商店街が結びつくなども良いかも。
		・オープンカフェを開き、市民（若い人や老人）と一緒に集い、気楽に話し合える場所が欲しい。
		・明るく活気に満ち、若者が集うまちにするため、素敵なお店、おしゃれなカフェは必須。
		・若い世代（学生）が集まるようなイベント、ボランティア活動を増やす。（観光地やお店を含め）
		・イベントによる地域活性化
・シャッター街化している団地の商店街が悲しい。治安にも良くない。		
・商店の活性化		
・活性化するまち		
・行事（花火）の増加が必要		
・安い賃金でも良いから高齢者に役割（仕事）をつくってもらえないか。増やしてもらえないか。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市主催で、若者から年配の人が、交流するイベントを積極的に開催して、活気のあるまちづくりをしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市のイメージ払拭。ゴーストタウンではなく、市民が良いと思っている公園の多さ、緑の多さ、道の広さなどを外にPRして人口を増やす。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩センター駅周辺の土地活用。特に郵便局前など、閑散としていて暗いイメージがある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光を含め、市の情報活動

(5) 目指すまちの姿⑤ いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち

【キーワード：都市づくり、住宅、防災、交通】

政策	ご意見（原文ママ）	
E1 安全・安心のまちづくり	私たちにできること	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災
	行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・減らした交番を元に戻して欲しい。老人にとって駆け込み寺的な存在だから（夜間は特に）。
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心なまちづくり
		<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚（障がい）者への災害の情報を十分してほしい。
E2 安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり	私たちにできること	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体による遊歩道、公園の整備。高齢者が多いので健康促進の観点からボランティアで整備してもらい、医療費の削減、道の整備の一石二鳥
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備（といっても花の維持など）にかかわる…このような場をたくさん用意できるNPOでも作るか。
	行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備、維持管理
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の舗装が30年以上経っているので、薄層舗装で歩きやすくしてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市内の交通はバスだけでは不十分。聖蹟桜ヶ丘駅、永山駅、多摩センター駅を繋いでいるが、何故か利用しない。電車での移動がほとんど。
		<ul style="list-style-type: none"> ・廃校の活用、卒業生で考える機会などをつくる？お年寄りや小さな子どもだけではなく、その中間くらいにいる世代も市民活動に参画しやすいまちになってほしいし、そうしたいです！
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民墓地の構想計画（子孫の継承のため）
		<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ（道路、橋、図書館なども含む）をしっかりと維持できる計画を立案してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の整備。土地の有効利用。
		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した建物等の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の充実 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても自分らしく住めるまちにする。坂があっても不便と感じない生活。バス便、商業施設などの整備。
--	--

(6) 目指すまちの姿⑥ 人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち

【キーワード：環境】

政策	ご意見（原文ママ）	
F1 地球と人にやさしい持続可能なまちづくり	私たちにできること	・緑の維持、整備
		・緑の維持⇒グリーンボランティアに参加
		・緑化運動に協力すること
		・緑の環境は大切にす。 (緑が多い多摩市はとても良いと思うから)
		・多摩市の緑は貴重だと思います。20年後にも緑が多く残っているように願います。
		・緑を大切に。
		・緑多い美しいまち
		・ごみを捨てない。
		・地域の清掃、植木等を剪定し、美しいまちにしておく。
	・家の周りを地域住民皆で掃除をして一体感をつくる。	
行政に期待すること	・緑が豊かで大変良いが、美化に力を入れて欲しい。遠目では美しいが、近目では美化されていない箇所が多い。	

(7) その他（全般的なご意見、ご感想など）

その他(全般的なご意見、ご感想など)	私たちにできること	・まちが元気であるように協力していきたいと思っています。若者もまちの生活の中にとり込んでいけるように、子育て世代が市民として働けるように、老人も参加できるようなまちにしましょう。
	行政に期待すること	・紋切り型の施策テーマから脱却する。もっと多摩市らしさを！
		・みんなが元気あるまちづくり
		・特色あるまちづくり
		・ふるさと納税の説明を見ました。何をくれるのかな？と電話しました。「何もない。」大丈夫かな？
		・財政の健全維持。若い人が多いまちになるように。
		・税の増収が必要。
		・市職員の改革をして欲しい（民間人の登用）。
		・お金のかからない支援、サービス、発想の転換。
		・今、多摩市が直面している問題をリフレーミングする。解決すれば、魅力、ブランドになる。
・市役所からの扶助を受ける側の態度も改め、市役所の柔軟性も必要。		

第3章 各テーブルの模造紙紹介 (1班~8班)

